

## 挨拶

広島県特別支援学校教育研究大会の開催に当たり、広島県教育委員会教育長下崎邦明様をはじめ御来賓の皆様には、大変御多用な中、御臨席を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成12年度に発足した本研究会も、本年度で17年目の活動を迎えています。

発足当時は障害種別毎に5つの部会に分かれて研究活動を推進していましたが、平成17年度から部会を1つに統合し、会員が一丸となって広島県における特別支援教育の充実・発展を図って参りました。本県では平成26年12月に「広島版『学びの変革』アクション・プラン」が策定され、子供の主体的な学びを促し、学んだことを活かしながら、子供自ら課題を発見し、その解決へ向けて主体的に学ぶことを目指して取組を進めております。教職員自らが主体的に研修に励み、実践的に活用し、子供の主体的な学びを促す教育活動を実践していくことが必要であると考えます。

一昨年度は、研究大会への参加者数の増加により、広島大学に会場を移して開催しました。本年度は三原特別支援学校が事務局を担当するという事で、再度広島大学で開催する運びとなりました。これまで本研究会が長年にわたり積み重ねてきた成果を大切にしつつ、大学で実施する強み・良さを活用した「学校企画発表」を更に充実発展させ、会員が各学校で取組んできた成果を研究大会において報告・発表し合うこととしました。また、昨年度に引き続き分科会方式を取り入れ、研究グループによる運営とし、主体的に学び合い鍛え合う研究会を志向しさらに工夫・改善したところです。今後、各学校で推進していく研究・実践の参考としていただき、広島県における特別支援教育の更なる充実・発展を図りたいと願っております。

本日の研究大会では、「特別支援学校における主体的な学びの在り方」～人生の質を高める教育～と題して元愛媛大学教育学部教授 上岡一世先生に御講演をいただきます。

会員の皆様の実践を深めるためのきっかけとなるとともに、今後の本研究会並びに広島県の特別支援学校の教育のより一層の充実・発展につながることを期待しています。

結びになりましたが、本日の研究大会に向けて御支援・御指導をいただきました広島県教育委員会事務局教育部特別支援教育課、広島県立教育センターの皆様、準備・運営に御尽力をいただくとともに本日、御参加いただいた会員の皆様に心から感謝申し上げます。開会の挨拶といたします。

平成28年12月27日

広島県特別支援学校教育研究会  
会長 大野 英 明